



News Release

生活者のくらしとお金についての疑問や不安にFP(ファイナンシャル・プランナー)が電話相談に答える 「くらしとお金のホットライン」12月5日(土)実施！！

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(略称:日本FP協会 理事長 加藤寛)は、FP 上級資格を有するCFP®認定者が、生活者のくらしとお金についての疑問や不安に答える緊急電話相談「くらしとお金のホットライン」を、本年12月5日(土)に実施します。

日本FP協会では、平成11年より「FP広報センター」での電話相談(フリーダイヤル:0120-211-748、平日10:00~16:00)を常設しています。ご相談内容は、家計管理、将来のライフプラン、住宅ローンの組み方、保険の仕組み、金融商品の特徴・選び方のポイント、老後の生活設計など、多岐にわたっています。

例年、ボーナス期は金融商品の選び方などの相談が多い時期ですが、今年はボーナス減額に伴い住宅ローンの返済が難しいなど家計の厳しさを訴える声も聞こえてきます。そこで、日本FP協会では、くらしとお金についての疑問や不安を気軽にご相談いただけるよう、CFP®認定者による臨時の土曜電話相談「くらしとお金のホットライン」の実施を決定しました。

「くらしとお金のホットライン」の実施概要は以下の通りです。

「くらしとお金のホットライン」実施概要

開設日時：平成21年12月5日(土) 午前9時～午後4時

電話番号：0120-211-748 (フリーダイヤル:通話料無料)

相談受付：CFP®認定者(日本FP協会認定FP上級資格保有者)

※電話相談の特性上、個別具体的な内容によってはお答えできないものもあります。

個別の金融商品等の推奨や個別の税務・法律に関するご相談もお受けいたしません。

※FPは、生活者ひとりひとりの夢をかなえるための、いわば「家計のホームドクター®」です。

世界が認めるFPの頂点 CFP®資格

CFP®資格は、世界23カ国・地域(平成21年7月現在)で導入されている、「世界が認めるプロFPの証」です。認定要件の「4E(教育=Education、試験=Examination、経験=Experience、倫理=Ethics)」と、実務プロセス指針であるファイナンシャル・プランニング・プロセスの「6ステップ」のコンセプトに基づき、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できる証明です。CFP®認定者は、高度な知識とスキルをもって長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスをし、他のFPの規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとしてCFP®資格を認定されています。国内ではNPO法人日本FP協会だけが資格認定できる「FPの頂点」とも言える資格です。CFP®認定者は、日本FP協会のホームページから検索いただけます。 <https://www.jafp.or.jp/cfp/agreement.htm>

◆本件のご取材・内容に関するお問合せ先

| 担当 | 日本FP協会 広報部広報課 平岡・田淵 | TEL | FAX | E-mail |
|----|------------------------|--------------|--------------|-----------------|
| | | 03-5403-9749 | 03-5403-9795 | info@jafp.or.jp |

※CFP®、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd. (FPSB) の登録商標で、FPSB とのライセンス契約の下に、日本国内においては NPO 法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

※AFFILIATED FINANCIAL PLANNER®、アフィリエイトッド ファイナンシャル プランナー®は、NPO 法人日本FP協会の登録商標です。

※家計のホームドクター®は NPO 法人日本FP協会の登録商標です。

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 堂島イーストビル5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

「くらしとお金」に関する相談事例 (FP 広報センターなどより)

<家計管理>

昨年住宅を購入しましたが、毎月の家計の収支が赤字となってしまいました。現在は貯蓄を取り崩していますが、その貯蓄も長くは続きません。今後どのようにしたら家計の収支が改善するのでしょうか。

<老後の生活設計>

子どもたちは独立し、夫婦ふたりで暮らしていますが、この先が不安です。将来、子どもの世話になりたくないで、施設に入ることも検討したいのですが、いくらぐらいかかるのでしょうか。

<住宅ローンの組み方>

住宅を購入したいと思っています。現在の収入と貯蓄から、どれくらいを自己資金に充てても大丈夫でしょうか。また、返済期間や返済プランなど、住宅ローンの組み方はどうしたらよいのでしょうか。

<住宅ローンの返済>

年2回のボーナス返済を組み、月々の住宅ローン返済額を抑えていましたが、今年はボーナス額が減り、返済が苦しくなっています。これからどうしたらよいのでしょうか。

<生命保険>

医療保険に加入したいのですが、保険期間や保険料など色々なプランがあり、どう選べばよいのかわかりません。

<金融商品>

共働きで子どもがいない今のうちに今回支給されたボーナスをもとに少しでも貯蓄を増やしておきたいのですが、どうしたらよいのでしょうか。

<子どもの教育費>

高校生と中学生の子どもがいます。家計のプラスになるよう、パートもしていますが、これからの教育費がかかりそうで不安です。